

話すこと・聞くこと

相手の意図をとらえながら聞き、目的に応じて、自分の考えを話すこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

話し合う場面で、異なる意見を一つにまとめられない。

- (☆小学校の課題について)
- A あいさつをしない。
 - B 悪口を言う人がいる。
 - C 廊下を走る人がいる。

相手の話の意図や要点をとらえられていないため、共通点を見つけられない。
(安易に結論を出してしまう)

司会：私たちのグループでは、どの課題について取り組めばよいと思いますか。
B：Aさんが言ったあいさつがいいと思います。あいさつをしない人がいると嫌な気分になるからです。
C：私はやはり廊下を走ることが問題だと思います。
司会：あいさつという意見が多いようなので、あいさつに決めたいと思います。

実践の概要

単元名

田鶴野小を良くするために提案書を書こう

『明日をつくるわたしたち』光村図書

目標 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。

- 内容
- ・課題に対する自分の考えをもつ。
 - ・モデル文から、話し合い方を学ぶ。
 - ・共通点を探しながら話し合い、意見をまとめる。
 - ・提案書を書く。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう	話し手の意図をとらえながら聞き、話の展開に沿って、助言をすることができない。
第5学年	田鶴野小を良くするために提案書を書こう	話し合う場面で、異なる意見を一つにまとめられない。
第4学年	大事なことを落とさない聞き取りメモ名人になろう	話し手の伝えたい大事なことを聞き落とさず、工夫してメモすることができない。
第3学年	幼稚園さんに学校生活の様子をつたえよう	互いの考えの共通点・相違点を的確に見つけられないために、意見がまとまらない。
第2学年	つたえたいことが聞く人によくわかる「あったらいいな、こんなもの発表会」をしよう	話し手が話した内容について、質問・アドバイス・感想が言えない。
第1学年	きいて しらせよう	大事なことを意識して聞き、そこから質問を見つけることができない。

単元末の目指す姿

- ・意見が異なる場合に、考えの理由や願いを聞き合い、共通点を見つけ、意見をまとめることができる。
- ・相手の話の意図や要点を意識して聞き、話し合うことができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

異なる意見から、お互いの共通点を探させる。

活動のねらい▶ 理由や願いを聞き合うことで、共通点を見つける。

ここが
ポイント

表面的に意見が異なる場合でも、「なぜそう考えたか」という理由や願いを、さらに聞き合うことで、共通点を見つけられることを児童に理解させたい。そのために、話し合いの場面の実例を提示し、実際に共通点を見つける練習を行うことが効果的である。

授業の様子



話し合いの場面の実例
3人の共通点は何か？

(期待される児童の姿)

意見が異なる場合に、話し合いが止まったり、安易に多数決で決めたりすることが散見されるが、理由や願いを聞き合い、共通点を見つける方法を学ぶことで、メンバー全員の考えをいかそうと話し合う姿勢が見られるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

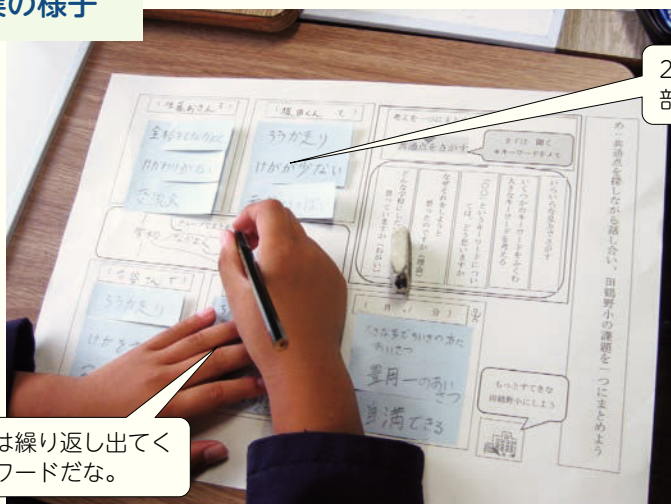
付箋にメモをしながら、相手の話の要点を意識して聞くようにする。

活動のねらい▶ 付箋にメモをしながら聞き、相手の話の要点や意図をつかむ。

ここが
ポイント

共通点を見つけ意見をまとめるためには、相手の話の要点や意図をつかむことが欠かせない。そこで、付箋にメモしながら相手の話の要点や意図を聞く活動を行う。付箋を操作しながら、お互いの意見の共通点を探ることができ、特に、聞くことに課題のある児童には、自分の考えを構成する上での手がかりとなる。

授業の様子



2人の意見は、「安全」という部分では共通しているぞ。

「安全」は繰り返し出てくるキーワードだな。

(期待される児童の姿)

付箋にメモをし、話し合いを可視化することで、話し合いに積極的に参加できる児童が増える。異なる意見から、お互いの共通点を探し、意見をまとめるためには、「相手の話の要点や意図を意識して聞く」ことが重要であると児童が実感し、児童の聞き方に変容が見られる。